

雪庇 (せっぴ)

雪庇は、風により稜線付近に運ばれた雪片が風下に徐々に付着しひさし状に成長したものである（写真 1、図 1 参照）。これは、先端部がある程度まで発達すると崩落し、雪崩を誘発する危険性がある。また、小段など勾配変化点では、気温上昇に伴い斜面積雪が下方にせり出して、先端の雪庇が崩落する恐れがある（写真 2、図 2 参照）。



写真 1 稜線付近の雪庇



写真 2 法肩にせり出した雪庇

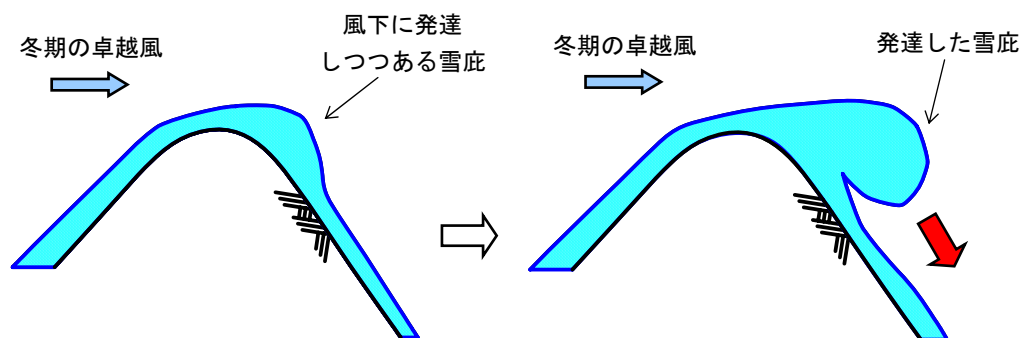


図 1 稜線付近の雪庇

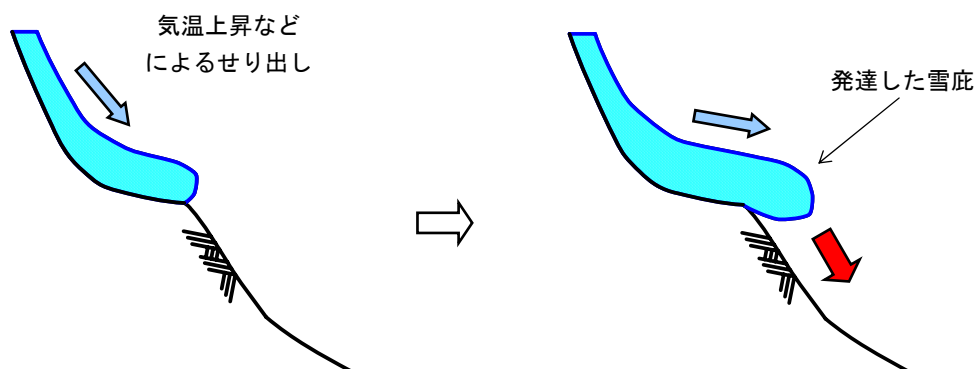


図 2 勾配変化点の雪庇